

平成28年度  
宇都宮大学教育学部 推薦入学Ⅰ（A） 試験問題

小論文

教育学部学校教育教員養成課程 社会分野

平成27年11月27日（金）

9時00分～10時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この冊子には、2問題（4つの設問）がある。乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答用紙は、2枚ある。解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。所定の欄以外に記入したものは、無効である。

第1問 次の文章を読み、下の問に答えなさい。なお、解答はすべて解答用紙に書きなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(羽田正『新しい世界史へー地球市民のための構想』岩波新書，2011年，より抜粋)

**問1** 下線部(1)に関連して、この時期における戦時統制と国民生活の動向について、200字以内で述べなさい。

**問2** 下線部(2)について、筆者が主張する「現実の人間社会と密接に結びついた『実学』」としての歴史とはどのような学問であると考えられるか、自分の考えを200字以内で論述しなさい。

第2問 次の「監視社会」に関する文章を読み、下の問に答えなさい。なお、解答はすべて解答用紙に書きなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(大澤真幸著 『不可能性の時代』 岩波新書より)

問1 下線部(1) 「彼らは監視を忌避しているのではなく、むしろ監視されることを望んでいるのだ」という著者の推測について、あえて反論し、別の推測を導くとしたら、どのようなことが考えられるか。100字以内で述べよ。

問2 下線部(2) 「監視は、今や、自由を制限する以上に、自由を奨励している」と著者が考える理由や意味を説明した上で、「監視社会」に関するあなた自身の考えを300字以内で述べよ。